地域社会を振興する機能　―地域独自の知恵や技術を作り出す働き―

生産と暮らしが一体化している農村社会では、地域独自の知恵や技術が作り出され、今日に伝えられ、農業の振興がその下支えとなっています。

「こうれん」(北海道)

江差町の農家に代々伝わる「こうれん」の製造・販売に取り組み、町内イベントでの普及活動や、道の駅で販売するなど伝統料理を伝えながら、地域振興にも繋げている。

会員総出でこうれん作り

「通潤橋」(熊本県)

江戸時代に農業用水を渡すために造られた橋で、当時の石工の技術レベルの高さを証明する歴史的建造物です。
日本を代表する農業用水施設の一つです。

「金沢市用水保全条例」(石川県)

昔から、農業や生活用水に使用されてきた用水を活かしたまちづくりが行われ、地域住民が協力して清掃活動を行っており、用水を利用したお祭りなども行い、保全・活用が図られている。

「宮古水まつり」(沖縄県)

大規模な地下ダムにより、生活用水、農業用水を確保することができ、島の各地にサトウキビや野菜、マンゴーの生産が盛んになった。
地元農産物の直売所を設置し、PRを行い地域の振興に繋げている。

農業用水の利用で青々と
生育するサトウキビ